

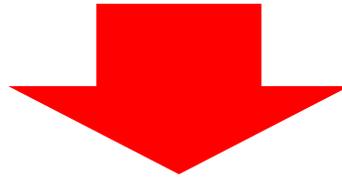
第2回食育推進評価専門委員会

第5次食育推進計画に向けて

令和7年9月11日
千葉県君津市長 石井宏子



「栄養・食生活」は、生命の維持に加え、
こども達が健やかに成長し、
人々が健康で心豊かな生活を送るために
欠くことのできない営みである



生涯において、
多くの食育を体験する機会を持つことが大切



君津市
Kimitsu City



君津市の主な取組について



君津市の主な食育の取組

1 家庭における食育の推進

- 心身の健康と豊かな人間関係を育むための基礎づくりを目的とした、乳幼児向けの教室や相談事業、幼児健診などにおける保健指導の実施

2 学校、保育園等における食育の推進

- 自然の恩恵や生産者に対する理解や感謝の心を育むため、給食へ君津市産食材など地場産物の積極的な利用の促進
- 食への関心を高めるため、保育施設において、園職員また地域の方などの協働により、農産物収穫・調理体験など、食に関する取組みや食育指導の実施





君津市の主な食育の取組

3 地域における食育の推進

- 公民館事業等において、乳幼児から高齢者まで各年代に応じた健康教育の実施



4 食育を進める環境づくり

- 食育を推進する食生活改善協議会や、農業体験を主催する君津市認定農業者協議会、小糸在来愛好クラブ等への支援
- 健康意識の向上や地産地消の促進を目的とした、広報やレシピサイトでのレシピ配信





君津市の主な食育の取組

5 生産から消費まで食のつながりを意識した食育の推進

君津市では、君津市認定農業者協議会、JAきみつ、君津市農業農村活性化協議会等の農業関係団体と連携し、幅広い年代・地域の皆さまに対して農業体験活動を実施しています。

(1) 市内小学生による米作り体験

小糸小学校5年生の授業の一環として、平成15年から実施。

農作業だけでなく、本市が千葉県内の水稻種子の約半分を生産しているなど地域農業の特色も伝えている。

田植え、収穫した米は新米として給食で味わい、農業の苦勞と喜びを体感して学んでいる。





君津市の主な食育の取組

(2) 市内外の消費者を対象としたきみつ枝豆収穫祭

地域の特産物である「小糸在来®」枝豆の収穫体験を平成10年から開催。累計参加者は10万人を超える。

君津でしか味わえない枝豆の収穫体験を通じて、郷土の魅力を再確認し、自然の素晴らしさを体感する機会として定着。



(3) 県外大学生による農業体験

令和7年度から、立正大学同窓会と連携し、米作り、枝豆収穫等の農業体験の場を提供。

農業への理解を深めるため、最新の農業機械の実演や地元生産者との交流の機会を設定。

収穫された米は、大学の運動部寮で提供予定。



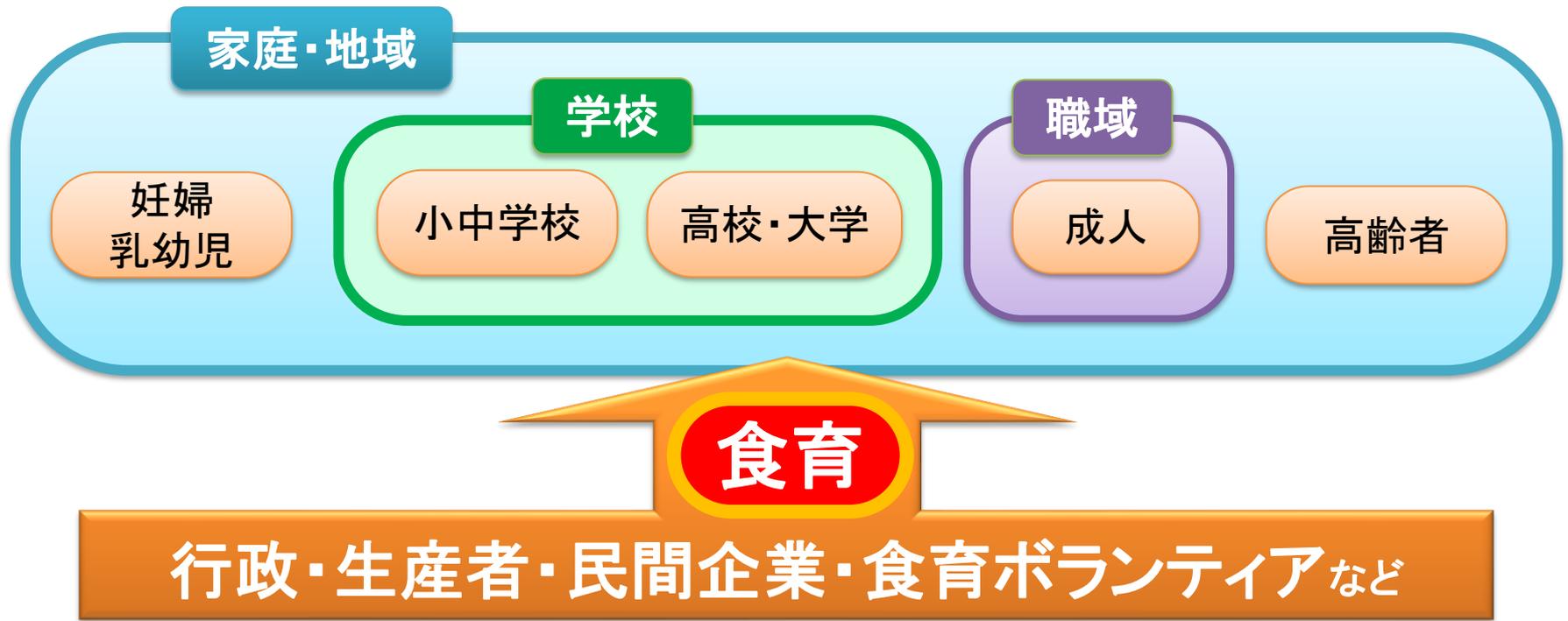


第 5 次食育推進基本計画策定に向けて



第 5 次食育推進基本計画策定に向けて

食育をより効果的に推進するためには、生涯を通じて特徴を踏まえた食育を様々な場において、**行政、生産者、民間企業、食育推進ボランティア**などが**連携・協働**して取り組んでいくことが必要と考える





第5次食育推進基本計画策定に向けて

- 第4次計画で達成できなかった項目の着実な推進
- 関係機関との一層の協力
- 高校生・大学生へのアプローチの充実が必要
- 更に、障がいのある方に対する口腔機能への取組強化が必要



ご清聴ありがとうございました